



感動の体育大会となりました！！

皆が願っていたお天気。お陰様で絶好の体育大会日和となりました。保護者の方々には早朝から参観いただいた上に、最後は片付けにもご協力くださいましたことに、心からお礼申し上げます。当日は、これまでの練習の成果を存分に発揮し、子どもたちは躍動しました。

さて、今年も半日開催となり、徒競走と団体演技、応援合戦の種目となりました。1・2年生が可愛い笑顔で踊る様子は、見ている方まで笑顔になります。3・4年生がソーランを踊る姿は自信に溢れており、練習がどれだけ充実していたのかが伝わってきました。5・6年生は、たった2週間と思えない仕上がりでした。表情がみるみる変わっていき、当日は絶対に成功させるという気持ちが運動場全体を覆っていました。下級生から憧れをもたれる高学年であることを嬉しく思います。また、応援の指導や運営の仕事と休みなく動いてくれました。これは西部小の伝統として引き継いでほしいと切に願います。

体育大会は、競い合うという中で、どうしても勝ち負けがありますが、負けた組の悔しさこそ、これからの生活に生きていくものと信じます。体育大会を通して学ぶものは勝ちにこだわることはありません。心を合わせて何かをやり遂げようと努力することや協力してやることの大切さ、自分の意思を強くしていくことなど様々です。この大会で感じ取ったこと、学んだことをどう活かすか、そこが行事を通して成長することだと思います。

どうぞこれからも子どもたちを温かく見守り、励ましてくださいますようよろしくお願いします。



保護者の皆様のお力に感謝します

今年の体育大会の成功には、保護者の皆様の存在が大きいと感じました。その理由として

① 感染対策へのご協力

動線を分ける、健康観察カードを記入する、各家庭2名に限定するなど、いくつものルールがありましたが、どれもきっちり守ってくださいました。

② 撮影コーナーでの秩序

自然と場所を交替するなどの様子が見られ、写真を撮りたいのはお互い様という気持ちで行動してくださっていました。

③ 片付けのご協力

テントが10張近くあり、職員だけでは相当な時間がかかることから、今年度は思い切って保護者の皆様にお手伝いをお願いしたところ、気持ちよく手伝ってください、あっという間に終わってしまいました。

他にも、日頃からの健康観察、駐車場のお手伝い、開・閉会式など、全面的にご協力いただいたおかげで、今日の成功はあると思います。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

本番はそれまでの過程の結実

本番の成功はそれまでの練習や準備がどうであったかにかかってきます。よく準備8割と言われます。

金曜の準備の様子を見ていると、てきぱきと動き、真剣な表情で取り組んでいました。仕事を頼むと元気に「はい！」と答えている様子を見て、これは大丈夫という思いがありました。それを更に確信に変えてくれたのが、夕方の出来事でした。

校長室の窓からふと外を見ると、5・6年生の4人が、誰に指示されることなく児童玄関の砂をきれいに掃除してくれていました。二人ずつ分かれて暗い中を掃いていました。こういう陰の行動ができるということは、心が育っている表れです。このような行動が積み重なってこそ、結果がついてくると思いました。